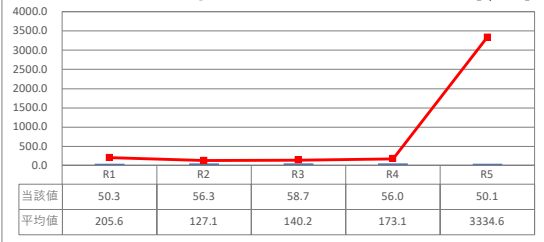


経営比較分析表（令和5年度決算）

1. 収益等の状況

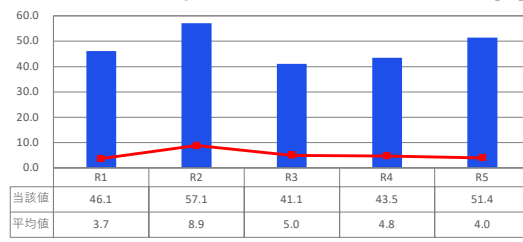
①収益的収支比率（%）

【1,905.8】



②他会計補助金比率（%）

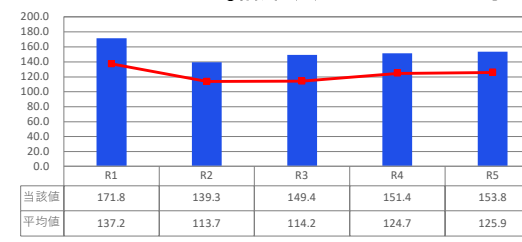
【3.9】



3. 利用の状況

①稼働率（%）

【210.9】



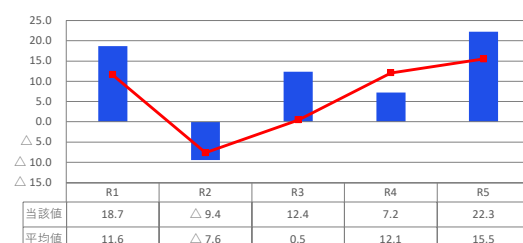
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額（円）

【127】



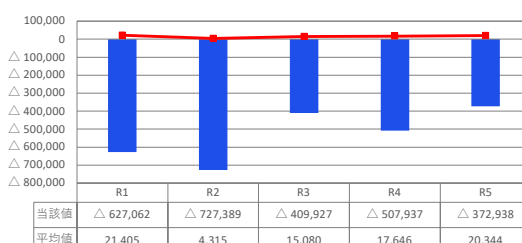
④売上高GOP比率（%）

【△55.6】



⑤EBITDA（千円）

【12,639】



2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率（%）

該当数値なし

⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

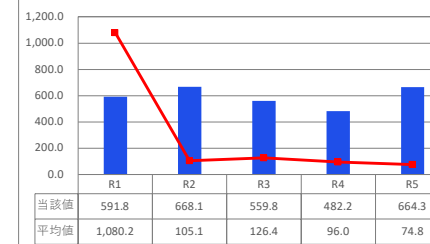
0

⑨累積欠損金比率（%）

該当数値なし

⑩企業債務高対料金収入比率（%）

【79.0】



グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）※

【】 令和5年度全国平均

※立体式5施設、地下式1施設で平均値算出
分析欄

1. 収益等の状況について

駐車場の料金収入等で支出をどの程度防いでいるかを示す収益的収支比率（%）は100%未満で赤字となっています。売上高GOP比率は昨年度から大きく増加していますが、これは利用料金制の導入により収益性が大きく増加したためと考えられます。EBITDAは平均よりも低いものの、減少傾向にあり、収益の改善が図られてきています。

2. 資産等の状況について

建設費の償還は令和14年度に完了しますが、建物の老朽化が進んでいることから、今後はエレベーターの改修や防水工事等の設備投資を見込んでいます。

3. 利用の状況について

稼働率は平均より高く、新型コロナウイルス感染症の影響が強かった令和2年度以降は回復傾向にあります。

全体統括

令和5年度から利用料金制を採用し、駐車場の売り上げが好調だったこともあり、昨年度と比較し収益性が向上しています。駐車場事業として収益を挙げられるよう、今後も引き続き駐車場施策について研究してまいります。

経営比較分析表（令和5年度決算）

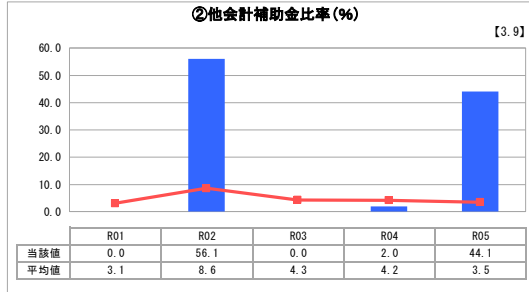
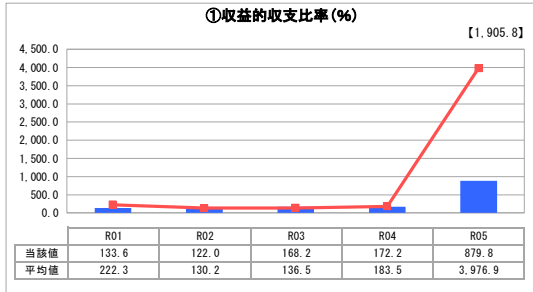
神奈川県相模原市 相模大野立体駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	36	

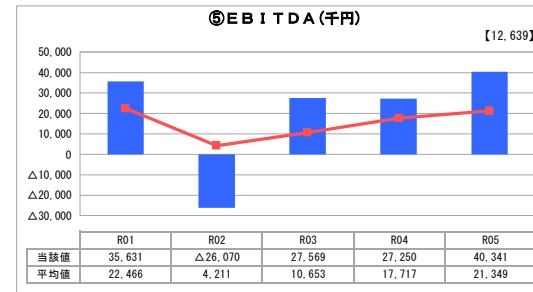
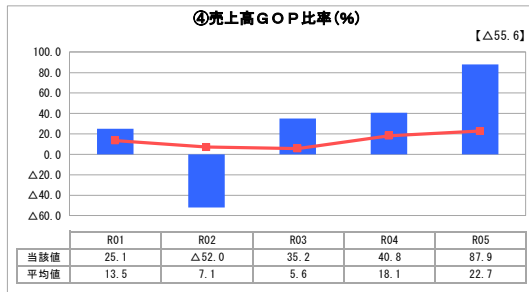
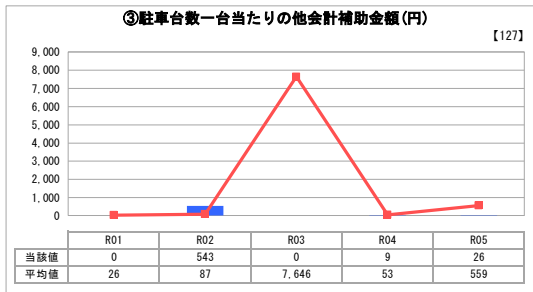
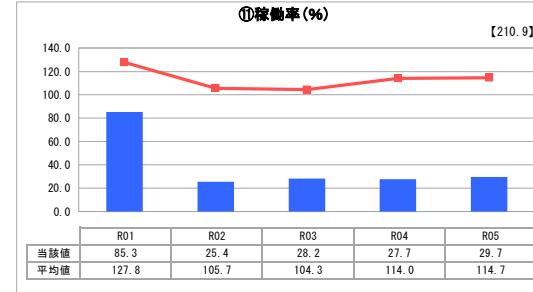
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	26,488
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
856	300	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

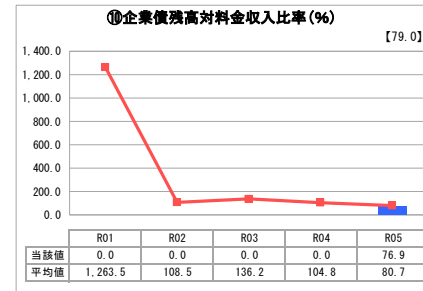


⑧敷地の地価(千円)

0

⑨設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 指定管理者からの納付金等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は100%を超えており、黒字の状態となっています。
 売上高GOP比率及びEBITDAは令和3年度にプラスに転じて以降、年々増加傾向かつ平均よりも高い数値を示しており、収益性は高い状態にあることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了していますが、老朽化が進んでいた防火設備の改修工事を実施し公営企業の借入れを行いました。
 今後はエレベーターの改修や防水工事等の設備投資を予定しています。

3. 利用の状況について
 令和元年9月末に隣接する大型商業施設の閉店後は低い数値で推移しているものの、増加傾向が続いています。
 令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき、都市計画駐車場としての位置付けを令和6年6月に廃止したため、今後の駐車場の活用方法について引き続き検討を進めていきます。

全体総括
 本駐車場は、昭和63年11月から供用を開始した、相模大野駐車場整備地区内に3つある都市計画駐車場のうちの1つです。しかし、隣接した商業施設が閉鎖して需要が減少したことや、近隣にも都市計画駐車場や民間駐車場があることを踏まえ、令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき、都市計画駐車場としての位置付けを令和6年6月に廃止しました。今後は月極等の導入も視野に、利用率の改善に努めます。

経営比較分析表（令和5年度決算）

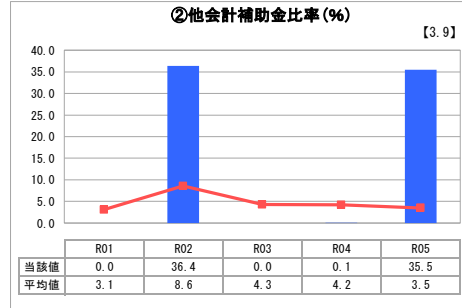
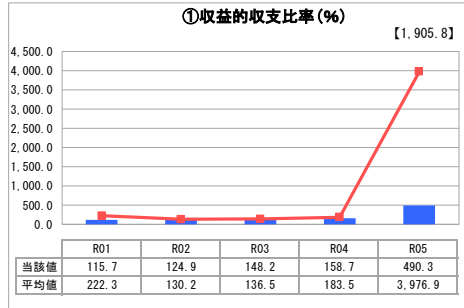
神奈川県相模原市 相模原駅自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	27	

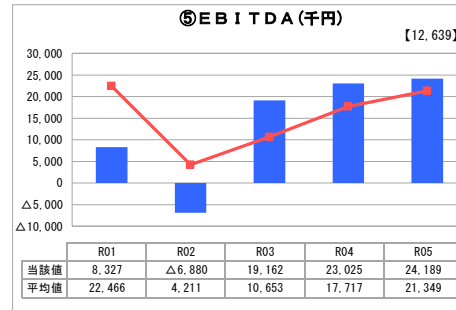
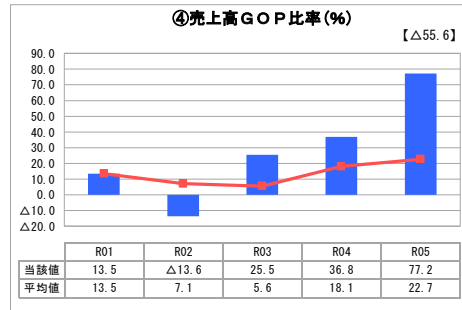
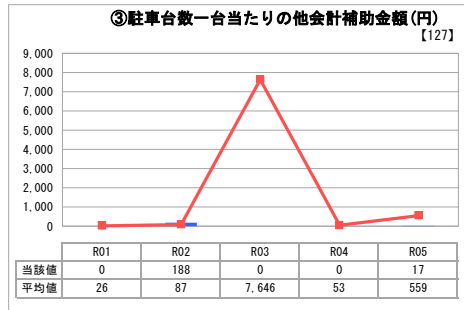
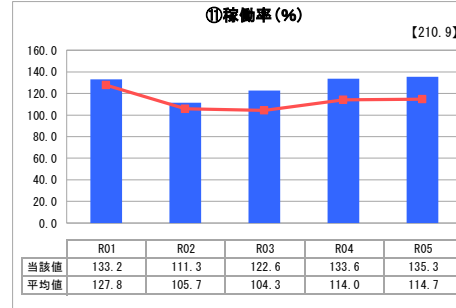
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	10,027
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
283	300	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



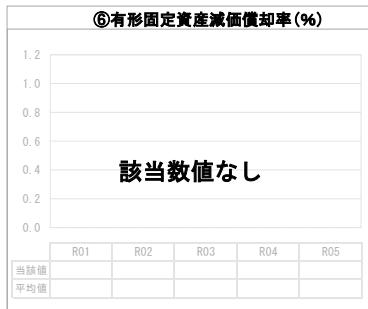
分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賅っているかを示す収益的収支比率(%)は、駐車場建設費の償還が終了した平成30年度以降100%を超えており、黒字となっています。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも高い数値となっており、収益性は比較的高い駐車場と考えることができます。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了していますが、施設の老朽化が進んでいます。
 今後はエレベーターの改修及び防火設備の改修等の設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 新型コロナウイルス感染症の影響が強かった令和2年度以降、年々稼働率は増加しています。
 平均値よりも稼働率は若干高く、駐車場としての需要が今後も継続することが見込まれます。

2. 資産等の状況

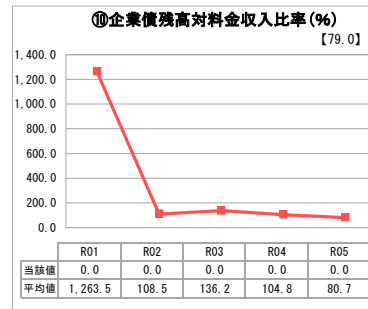


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



全体総括
 本駐車場は、平成9年4月から供用を開始した、相模原駅駐車場整備地区内唯一の都市計画駐車場です。
 一定数の利用があることから、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。
 また、北口の相模総合補給廠一部返還地のまちづくりによる需要の変化等を注視していく必要があります。

経営比較分析表（令和5年度決算）

神奈川県相模原市 橋本駅北口第1自動車駐車場

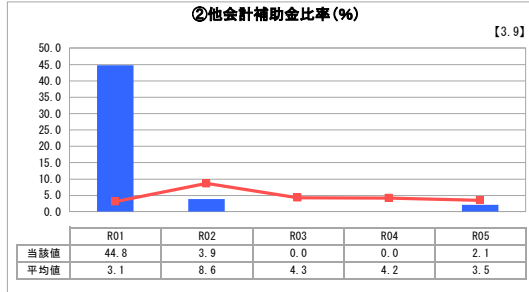
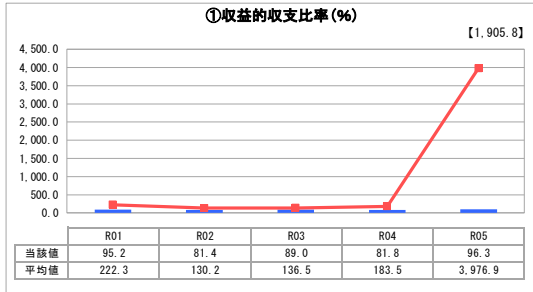
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	24	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	28,612
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
747	300	利用料金制

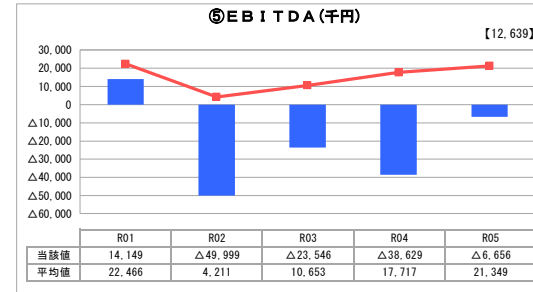
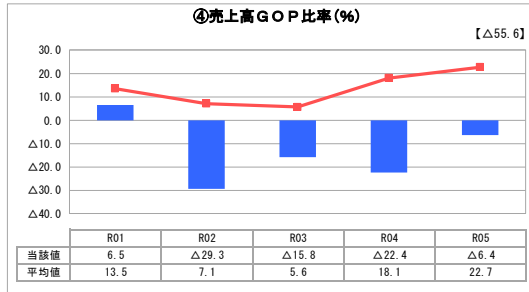
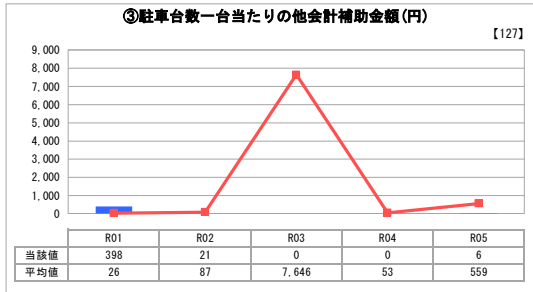
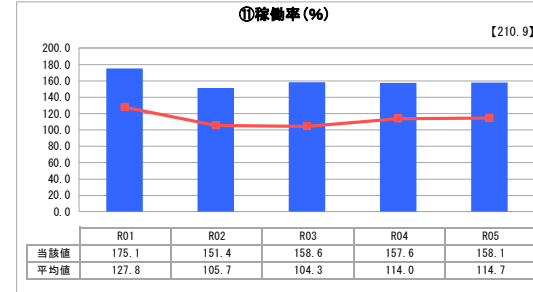
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

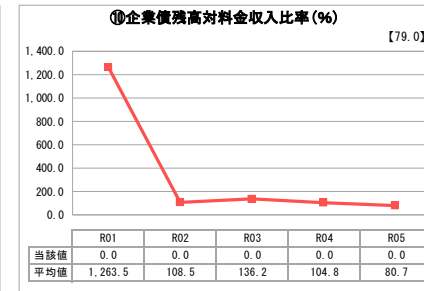
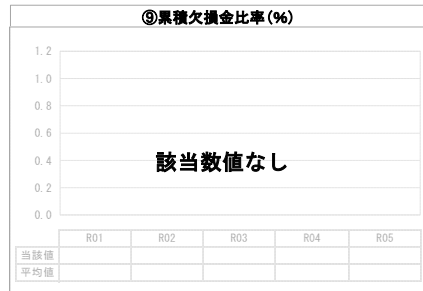


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は100%未満で赤字となっています。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了しています。住宅・商業施設との複合施設であり、大規模修繕は管理組合が実施するため、管理組合費の負担額のほか、今後は市が単独で所有しているエレベーターの更新費等を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 令和2年度に新型コロナウイルス感染症流行の影響により、利用率は減少しましたが、令和3年度以降は一定程度改善しています。
 平均値よりも稼働率が高く、今後も一定の需要が見込まれます。

全体総括
 本駐車場は、平成12年2月から供用を開始した、橋本駅周辺駐車場整備地区内に2つある都市計画駐車場のうちの1つです。
 一定数の利用があり、今後橋本駅南口において土地区画整理事業が実施されることを踏まえ、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。

経営比較分析表（令和5年度決算）

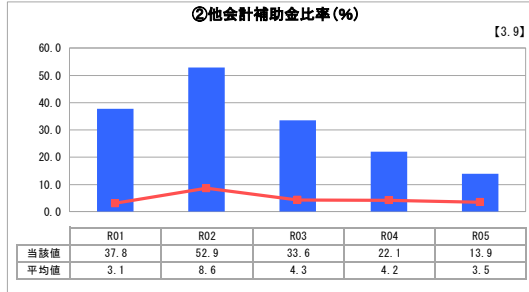
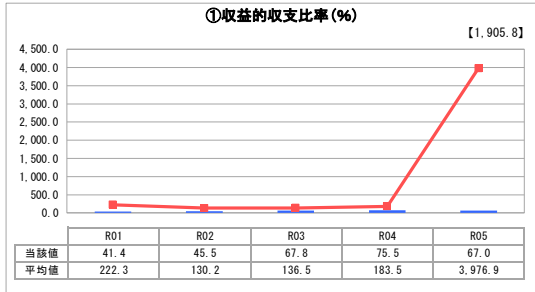
神奈川県相模原市 橋本駅北口第2自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	23	

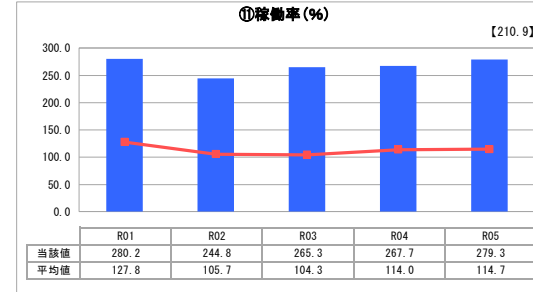
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	13,925
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
455	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 指定管理者からの納付金等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は100%未満で赤字となっています。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和5年度に完了しました。
 商業施設との複合施設のため、令和5年度からの10年間に管理組合が実施する大規模修繕の負担額のほか、今後は市が単独で所有しているITV設備の改修等の設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言発令時に、隣接の大型商業施設が一部を除いて休業したため、稼働率が下がりましたが、令和3年度から回復傾向にあります。
 平均値よりも数値が高く、需要の高い駐車場であることを示しています。

2. 資産等の状況

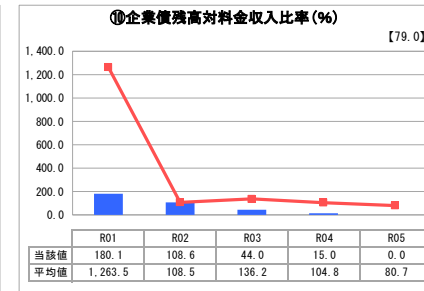
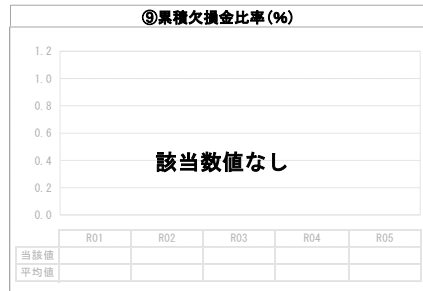


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



全体総括
 本駐車場は、平成13年9月から供用を開始した、橋本駅周辺駐車場整備地区内に2つある都市計画駐車場のうちの1つです。
 一定数の利用があり、今後橋本駅南口において土地区画整理事業が実施されることも踏まえ、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。

経営比較分析表（令和5年度決算）

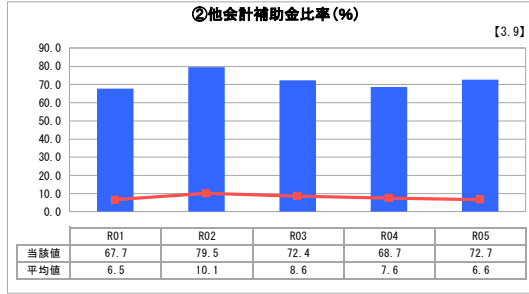
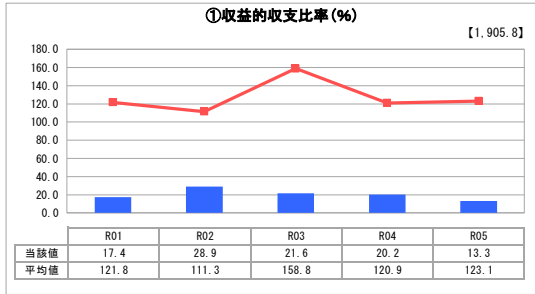
神奈川県相模原市 小田急相模原駅自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	地下式	17	

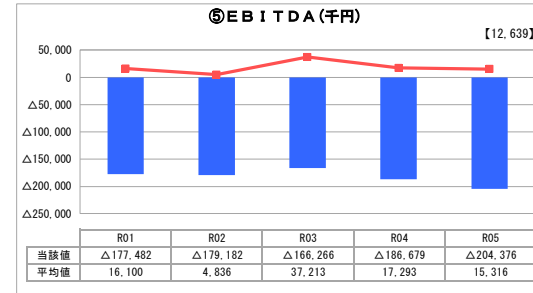
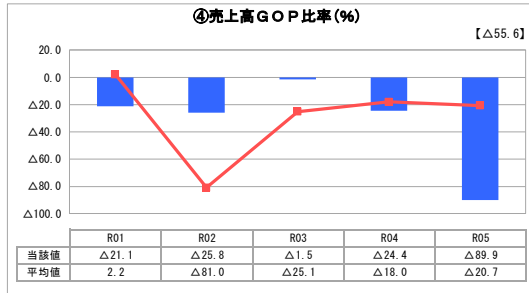
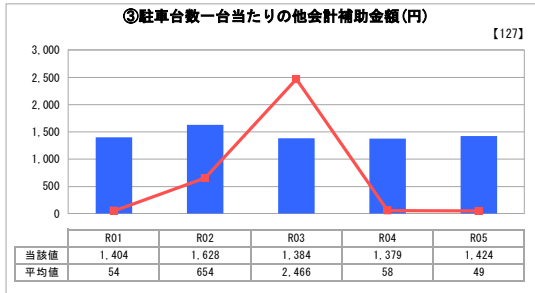
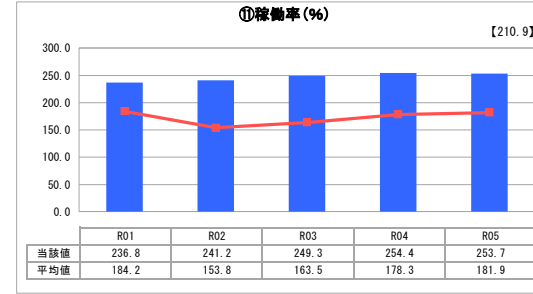
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	7,586
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
136	300	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

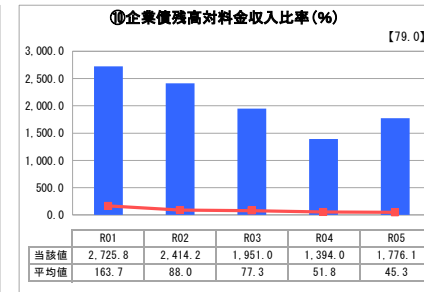


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の納付金等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は13%前後で、大きく赤字となっています。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和9年に完了する予定ですが、住宅・商業施設との複合施設のため、今後も管理組合と連携し、設備投資等を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 平均値よりも稼働率は高く、需要の高い駐車場であるといえます。定期駐車割合が高く、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年度もほぼ影響を受けませんでした。そのため、稼働率は概ね横ばいで推移しています。

全体総括
 本駐車場は、平成19年12月から供用を開始した、市の開発に伴い設置した駐車場です。市施設・商業施設・住宅がある複合建築物の地下部分を占めていることから、今後も駐車場として存続させる必要があると考えています。

経営比較分析表（令和5年度決算）

神奈川県相模原市 相模大野駅西側自動車駐車場

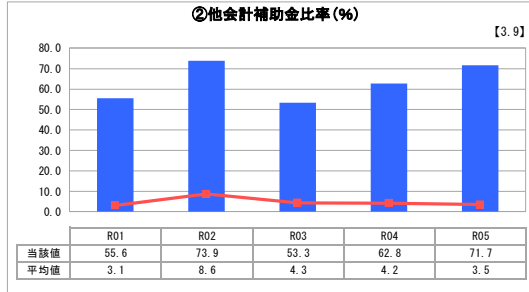
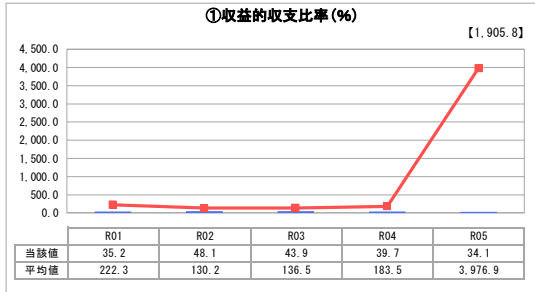
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	11	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	25,638
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
749	300	利用料金制

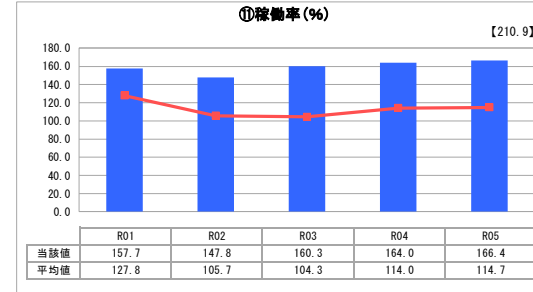
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況

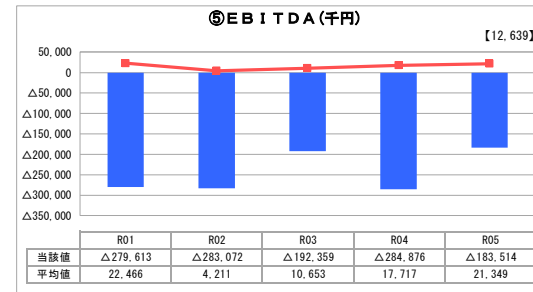
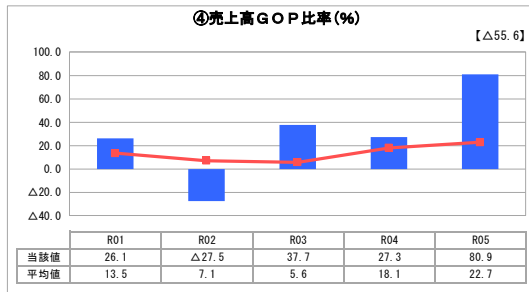
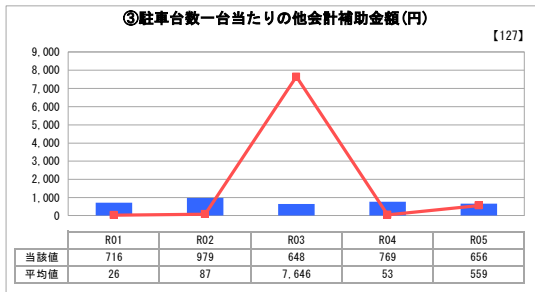


3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賅えているかを示す収益的収支比率(%)は34%前後で赤字となっています。
 売上高GOP比率は平均より高いもののEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。



2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和14年度に完了する予定です。商業施設との複合施設であり、今後は管理組合が実施する大規模修繕等の負担額を見込む必要があります。

2. 資産等の状況

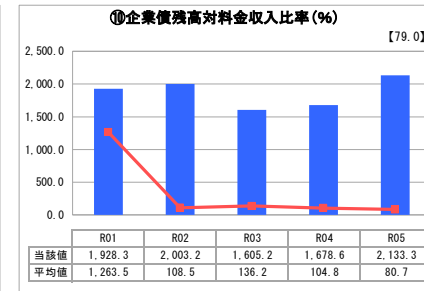
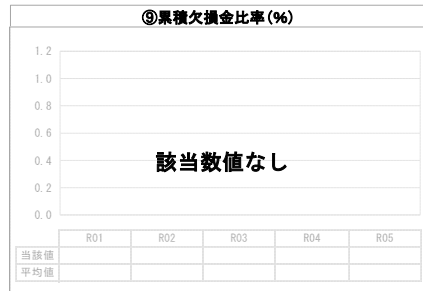


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



3. 利用の状況について
 近年は新型コロナウイルスの影響も落ちつき稼働率は増加傾向にあります。
 平均値よりも稼働率は高く、今後も一定の需要が見込まれます。

全体総括
 本駐車場は、平成25年3月から供用を開始した、相模大野駐車場整備地区内に3つある都市計画駐車場のうちの1つです。
 一定数の利用があることから、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。